

馬無前驅并兵仗

〔三代實錄五〕貞觀三年二月十八日壬戌皇太后○文德后藤原明子臨御太政大臣○藤原良房東京染殿第○中

太后可御鳳輦而今日用牛車

〔日本紀略十一條〕寬弘二年三月八日丙辰中宮行啓大原野社○中抑檢先例五條后爲養宿禰參詣之

間用車今度用輿是則備禮也

〔中右記〕嘉承二年閏十月九日晚頭從殿下○藤原忠實有召則參入民部卿俊新源中納言基左大辨重藤

相公顯同以參會聊有議定事

御即位日三ヶ日之中可被用何日哉○中略

人々被申旨諒闔○堀河之中不可有憚至母后者准一條院母后猶早可有立后也就中御即位日必可

令同輿給也○前齋院同輿之條前字尤可有憚下官○藤原宗忠申旨同之殊加詞申云我朝帝王皇后齋

王之外無乘輿人仍尤可有立后也前齋院尤可有憚○中略件事又以頭爲房朝臣被問左府○源房內府

○源雅實江帥○大江匡房之處左府被申云○前齋院同輿何事有哉御即位十二月一日者內府被申云前齋

院尤可有憚早可有立后即位日可在勅定江帥匡房申云前齋院同輿何事之有哉御即位十二月一

日者

〔常照愚草〕一ぬりごし御免の事三職は不及御免其外國持并大名など乗つけられ候家々代替の時御免を申されしなり其時はすだれを上て乗用也大名國持にても無之衆は御免申上候てもすだれをおろしても乗用也奉公方はいかに分限ありとも乗用候事は無之所勞などの時いたごしにすだれをおろし乗る事は法外非制限なり入道にては不及御免候由候へどもいかゞ候哉赤うるしにもこき赤うるしくりいろなど次第有之事也自然忍て乗用の時はちりとりに候り候てなど、ひげの伺申事も在之